

『颯々』は、富士・東部地域教育の様々な活動、情報等を掲載し、

## 地域教育の「横の連携」と「縦の接続」

を目指す富士・東部教育事務所が発行する情報紙です。1年に6回程度の発行を予定しています。

【 カラー版は、富士・東部教育事務所のHP からご覧いただけます。

URL : <http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-ft/index.html> 】

富士・東部教育事務所地域教育支援スタッフでは、

(1) 家庭、学校、地域の連携による地域ぐるみの教育活動の活性化を図る。

(2) 地域における体験活動・ボランティア活動の環境を整備し、地域教育力の活性化を図る。

を目標に掲げ、地域の教育力を高めるためのコーディネーターとして、家庭・学校・地域社会がお互いに連携を深め、青少年の健全育成のため活動しております。

## 夏休みのわくわく体験特集

動物・昆虫とのふれあい、オリジナルの楽器づくりを楽しもう!!

### 帝京科学大学 帝京科学の夏まつり



帝京科学大学（沖永荘八学長）と北都留地域教育推進連絡協議会（会長：石井由己雄 大月市長）は、7月30日(日)に第14回「帝京科学の夏まつり」を帝京科学大学上野原キャンパスにて開催しました。

当日は、雨天にもかかわらず100名ほどの子どもや保護者が参加しました。同大学の動物介在教育研究会、ドッグトレーナー研究部、動物飼育研究部等各研究室やサークルに所属する学生スタッフが10コースすべての運営にあたりました。今年からは、名前も一新し、気軽に参加できるように内容を工夫したり、たくさんの教室を行き来できるようなコ

ンパクトな会場作りをこころがけたりしました。

参加者の感想からは、「人と犬の関係学に2回も来て、ジルちゃんみたいなわんちゃんを飼ってみたいみたいと思いました。あごひげトカゲも数年ぶりだったのでとても楽しかったです。また来ます。」「科学工作では、子どもが理解できるように分かりやすい説明をしてくれたので、興味を持って工作を作れたと思います。へびに触れる経験は、とても新鮮でドキドキしながらもとても楽しめました。」「地質に興味を持ってほしいと思っていたので岩石標本を作れてよかったです。学生さんが皆、明るく楽しく接してくださり、楽しかったです。親にも子どもたちにも素晴らしい対応だったと感心しました。」などの感想が寄せられました。子どもたちは各コーナーの実験にくぎ付けになり、ハムスターや動物のぬくもりを感じ、楽しい科学工作でいっぱい遊びました。短い時間ではありましたが、このようにたくさんの学びと経験を重ね、科学や動物について親子でいっぱいふれあい楽しむ姿が印象的でした。



## ものづくりのおもしろさを体感!!

### 富士北稜高校 親子カルチャー教室



富士北稜高等学校（渡邊信介校長）と南都留地域教育推進連絡協議会（野木忠一会長）は、7月29日（土）に第15回「親子カルチャー教室」を開催しました。今年は「パソコンを使ってオリジナルカレンダーをつくろう」「ペットボトルでつくる光ファイバーアートをつくろう」「鋳物で表札をつくろう」の3つの講座に児童・保護者合わせて29組57名が参加しました。

当日は20名の高校生がミニ先生となって小学生を指導。ミニ先生の親切で丁寧な教え方に、参加者は親子で楽しむ「ものづくり」に熱中できたようです。

参加した児童からは、「画像を選ぶことや、どの加工にするか悩んだけど、完成品がきれいで嬉しかった。」「初めて電気の工作をしたけど、ミニ先生が細かく教えてくれて楽しくわかりました。」「発泡スチロールの性質を使って表札を作るなんて思っ

てもいなかったので、とても面白かった。」との感想がありました。また、保護者からは、「鋳造体験は、なかなか出来ないのが貴重です。ミニ先生ともふれ合えて、とても良い経験ができたと思います。」「時間を忘れて、娘やまわりの子ども達と楽しく過ごすことができました。また、来年も参加したいです。」と感想が寄せられ、とても充実した一日となりました。



## ワクドキチャレンジ!!

### 産業技術短期大学校 小学生ものづくりフェスタ

県立産業技術短期大学校（阿部邦彦校長）は、今年度から「大学コンソーシアムつる」との共催で、8月20日（日）に都留キャンパスにおいて「小学生ものづくりフェスタ」を開催しました。

「リモコンでうごく紙コップロボットをつくってみよう」「ペン立てをつくってみよう」「フルカラーLED ランプをつくってみよう」「LED キャンドルをつくってみよう」「『あばれコンつるくん』をつくってみよう」の5つのコースに児童・保護者合わせて30組60名が参加しました。当日は、同校教職員・学生・都留市少年少女発明クラブ等、多くの講師による指導で「ものづくり」を楽しむとともに、親子のコミュニケーションも深まりました。子どもたちは、難しい作業は助けを得ながら、みんな素晴らしい作品を仕上げました。

参加した小学生や保護者からは、「金属加工が身近なものに感じる事ができて、非常に良かった。」「貴重な体験ができてとても良かったです。」などの感想が寄せられました。普段は、なかなか体験できない各コースを楽しみ、有意義なひとときを過ごしました。



仲間と一緒にコミュニケーションしながら本を読もう！！

## 上野原高校 「チャレンジ！上高アニメーション」



上野原高校(小川弘一校長)と北都留地域教育推進連絡協議会(石井由己雄会長)は、8月5日(土)に上野原市立図書館会議室において、上野原市在住の中学生を対象に「チャレンジ！上高アニメーション」を開催しました。今回は上野原市内中学生11名、上野原高校図書委員の生徒4名、学校関係者等、合わせて24名が参加しました。

上野原高校は、図書委員会を中心に、「他の人の意見を聞き、自分とは違うものの見方や考え方を発見し、思考力や判断力、問題解決能力を身につける」ことを目的に、「読書へのアニメーション」に取り組んでいます。

当日は、まず「アイスブレイク」で参加者同士の親睦を図った後、自己紹介を行いました。参加者は事前に配付されたテキストを読んでおき、進行役である「アニメードール」により会が和やかな雰囲気の中、進められました。まず、作品の一節が書かれたプリントが参加者にランダムに配付され、内容が全て作品と同じ順番になるように、前後の文脈を推理して、周りとは相談しながら正しく並び替えをします。最後にアニメードールはその順番が正しく並べられたかどうかを告げます。皆、楽しみながら取り組んでいました。次に、参加者全員が登場人物役やギャラリー役になり、アニメードールの司会で質疑応答をします。登場人物の気持ちになって答えるといっても、正解は1つではありません。セリフや情景描写から人物の心情を想像し、テーマについて話し合うことで思考力が育てられます。また、他者の意見に触れることで多角的な読みが可能になります。



参加した中学生からは、「初めての体験で、新しい事を知ることができた。本の内容について良くわかった。」「高校生や他校の中学生と交流が深められて良かった。」などの感想が聞かれました。次回は、10月7日(土)に大月市・小菅村・丹波山村内の中学生を対象に実施されます。

## 八丈島・でっかい体験 2017

### フロンティア・アドベンチャー やまなし少年海洋道中



「心豊かでたくましい青少年の育成を目指し、洋上生活体験や八丈島における自然体験活動を通して、友情・連帯・奉仕の精神を涵養するとともに、地域リーダーとしての資質向上を図ること」を目的に、8月1日(火)から9日(水)の8泊9日の日程で、第30回「やまなし少年海洋道中」が実施されました。南北都留地区からは、男女3名の中学生が参加しました。漁船クルージングなどの「洋上体験」、キャンプ生活・スノーケリング・サバイバル踏破などの「自然体験」、八丈島の小中学生や地元の方々との「交流体験」、「自ら企画する体験」など、大自然の中で日常生活では味わうことが出来ない、数え切れない貴重な体験をしてきました。

参加者は、「普段体験できないことができ、すごく良かったです。八丈でいろいろな人とたくさん関わることができ、この夏は八丈島で過ごせて良かったです。すごく良い思い出になりました。」「山梨ではできない海の活動や自然と触れ合うことができました。また新しい友達と協力して、チャレンジすることができました。」

「自分の欠点と向き合せて、自分はこれからどうすれば良いのかを考えるきっかけになりました。山梨では決して体験できないことをして、良い経験になりました。人に感謝するということの大切さを学ぶことができました。」との感想がありました。

参加した50名の中学生はさまざまな体験活動の中で多くのことを学び、大きく成長した9日間になりました。また、8月20日(日)

には県立八ヶ岳少年自然の家において事後研修を行うとともに、八丈島の小中学生と再会。今回は山梨の中学生が八丈島の小中学生を歓迎し、交流を深めました。この交流活動をもって、今年度の「やまなし海洋道中」は無事終了しました。来年も、多くの中学生が参加されるのを期待しています。



## 異世代交流

### ～ことぶき勸学院北都留教室と都留高校 パソコン学習～



ことぶき勸学院北都留教室は、7月25日（火）に都留高校（小俣岳校長）において「高校生とのふれあいパソコン学習」を開講しました。はじめの会では、都留高校の校長先生からのご挨拶の後、講師役の生徒が自己紹介しました。実技指導は、初級（暑中見舞いのハガキ作成）と中級（チラシの作成）の2つのグループに分かれ、担当生徒による全体説明に沿って、各生徒が操作を補助しながら進められました。参加した勸学院生は、「生徒が親切・丁寧に教えてくれてよかったです。」また、高校生からは、「勸学院の皆さんの旺盛な向学心

とコミュニケーション力に多くのことを学びました。」などの感想が寄せられました。

今年度から始まったこの講座では、パソコンを通じて異世代との貴重な交流ができました。都留高校・ことぶき勸学院北都留教室ともに、今後も様々な形での交流を継続していきます。



## 国際交流

### ～スタンフォード高校と富士河口湖高校・吉田高校ラグビー交流～



ラグビー発祥の地イギリスから来日したスタンフォード高校は、7月22日（土）に富士北麓公園球技場で富士河口湖高校（田口尚弥校長）・吉田高校（高保裕樹校長）ラグビー部・県高校選抜チームと試合を行い、交流を深めました。

当日は、スタンフォード高校生徒45名、スタッフ5名が参加しました。各試合ともに熱戦が繰り広げられ、選手たちは最後まで全力プレーで保護者などの応援に励んでいました。ノーサイドの後は、記念撮影や交流会が行われました。生徒同士、

会話が弾みとても爽やかな時間を過ごしました。

翌日は、富士河口湖高校で英会話部及びSGH（スーパーグローバルハイスクール）アソシエイトの国際交流グループの生徒たちが案内し、茶道・剣道・弓道の日本文化を体験しました。その後、富士山世界遺産センターへ移動しさらに文化交流を楽しみました。



## 地域連携

### ～大学連携 「大月短期大学 公開授業」～



大月短期大学(村上哲也学長)は、地域に根ざした学校づくりの一環として、今春に完成した木造校舎で「公開授業」を開催しました。パネルディスカッション形式の公開授業は、初めに同短大教員が研究内容を紹介し、その後パネリストとして各テーマに沿った意見を述べ、聴講者を交えての討論となります。1回目は「現代社会・経済における移民・難民問題」をテーマに開催されました。

第2回の7月26日（水）は、「地域から日本経済を考える一環境・農業・金融」をテーマに、内藤敦之先生を司会に佐藤克春先生・榎平龍宏先生・范立君先生がパネラーとして参加。聴講者は、外国人観光客増加等、様々なデータに基づく説得力のあるお話しに聞き入っていました。パネルディスカッション後に聴講者からは、具

体的に大月の活性化につながるような方策を示してほしいと意見が出され、今後の地域経済や観光名所の活性化の例などについて、活発に意見交換が行われました。

# 第35回 吉田空襲展

## ～戦争に学び 平和を考えよう～

富士を仰ぐ平和な吉田の空に、かつて戦うための飛行機が飛び、多くの人が苦しみ、そして亡くなりました。今を生きる私たちは、そのことを忘れず、伝えていかななくてはなりません。

吉田空襲の事実とともに、地域から日本、世界へと目を向け、現代社会の平和へ



の課題について児童生徒・地域に広め、平和実践の交流の場とすることを目的に、第35回吉田空襲展が7月28日(金)から30日(日)の3日間、富士吉田市民会館で開催されました。

「吉田空襲のパネル」「戦時中の遺品」「小中学生の作品と平和ポスター」「高等学校・特別支援学校の展示」「忠霊塔に関する展示」「日本各地の平和関連施設紹介」などの展示のほか、「吉田空襲フィールドワーク」「戦時食のふるまい」「高校生による読み聞かせと親子映画会」「ことぶき勸学院のみなさんとのふれあい&昔の遊びコーナー」などの企画が行われました。また、スライドと映像で学ぶ「吉田空襲を学ぶ会」も開催されました。吉田空襲体験者の宮沢和雄さんと舟久保寛さんのお二人の話を映像で見て、戦争を体験した方の平和への思いを学びました。



3日間で約2300名の児童・生徒や保護者が来場。戦争に学び、平和の尊さについて考えることができた空襲展でした。

### 国際交流活動 !!

## フランスの柔道選手と吉田中学校の交流会

8月28日(月)、吉田中学校(矢崎政美校長)において、「吉田中学校とフランスの学生との交流会」が開催されました。

当日は、フランスのグルノーブル柔道クラブの学生(15歳~21歳)と引率者11名が来校しました。まず、1・2年生の授業を参観しました。英語のクラスでは、質問コーナーが設けられ、柔道クラブの学生の受け答えに、楽しい授業となりました。次に、同校の柔道部員と一緒に給食を食べながら、日本の食文化を体験しまし

た。そして、午後からは、フランスでも人気の高い柔道の交流です。格技場で柔道部員と乱取りなどの練習に励みました。さわやかな汗を流し、フランスと日本の柔道の違いを肌で学び、感じることができました。言葉がちがっても、柔道に取り組む気持ちは一緒です。様々な活動を通じて、楽しいひとときを過ごしました。

県や富士吉田市は東京オリンピックでのフランスチームの「ホスト・タウン」に承認されています。この地域活性化事業を活かし、オリンピックへ向けた機運が高まるきっかけになればと思います。



**「ものづくり」の楽しさを体験!!**

## ひばりが丘高校 創作授業公開



ひばりが丘高等学校(松野正士校長)の「授業公開」は7月14日(金)に実施されました。今回は昼間部・夜間部ともに、年次ごとのテーマにもとづいた、「ものづくり」を行う創作授業の公開でした。地域の外部講師の指導により、「切り絵」「絵画」「絵手紙」「本づくり」「刻字」「陶芸」「革細工」「折紙」「卒業制作(木工)」の各講座が開講されました。

卒業制作(木工)では、卒業生約26名が12日から19日の5日間に渡り、厚生労働省の「ものづくりマイスター」に認定された講師の指導を受け、本棚を5個製作しました。完成した本棚は、9月の校内発表会で展示した後、市内小学校に贈られます。

生徒の皆さんは、教員や講師の指導のもと、とても熱心に作業に取り組み、どの作品も個性的で感性豊かなオンリーワンの作品に仕上がっていました。



## 山梨ことぶき勸学院レポート 地域貢献編

### 河口湖畔清掃活動!! 南都留教室



皆さんご承知の通り、富士五湖では毎年8月1日から5日まで、それぞれの湖で順に花火大会が開催されます。中でも一番賑やかなのが河口湖の湖上祭で、最終の8月5日に多くの見学客が訪れます。たくさん人が集まれば当然のことながら、多くのゴミが出てきます。ことぶき勸学院南都留教室では、毎年地域貢献として湖上祭翌日の8月6日に河口湖畔の清掃活動を行っています。この日は天候に恵まれ、朝から強い日差しの中、汗を流しながらの活動でした。1年生14名が大池公園を2

年生20名が八木崎公園を担当し清掃活動を行いました。学びの場、ふれあいの場、そして地域社会を担う場としての勸学院です。どうぞ、多くの入学生をお待ちしております。

### 子ども達のために!! 北都留教室

大月・上野原に住む受講生で構成されている北都留教室では、未来を担う子ども達とのつながりを大事にしたいということで、今年は勸学院OBも参加して、上野原市立島田小学校にお願いし、校庭の草取りをさせていただきました。休み時間には、子供たちや先生方も一緒に作業となり、楽しく交流しながら作業を進めました。「運動会の練習が気持ちよく整備された校庭で行うことができます。」という子ども達からのお礼の言葉に、疲れも吹き飛び、さっぱりとした校庭を眺めながら充実感を伴って作業を終りました。



【 カラー版は、富士・東部教育事務所のHP からご覧いただけます。】

URL : <http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-ft/index.html> 】

地域の皆様のご支援ご協力を得ながら、実りある実践となるよう努めて参ります。各事業についてご意見ご要望がありましたら、地域教育支援スタッフまでご連絡ください。

※連絡先 富士・東部教育事務所 地域教育支援スタッフ 0554-45-7841